

4月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		4月の都内の景気は緩やかに回復している。百貨店・スーパー・コンビニエンスストアの売上は、昨年4月に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減があったことなどから、前年を大幅に上回った。乗用車販売は消費税率引き上げ以降初めて前年を上回った。住宅着工は3ヵ月連続で、公共投資は2ヵ月連続で増加した。輸出は10ヵ月連続で増加した。有効求人倍率は3ヵ月ぶりに上昇した。工業生産(3月)は2ヵ月連続で前月から減少した。1~3月期の設備投資(大企業)は、製造業は減少し、非製造業は増加した。同期の経常損益(同)は、製造業は増益、非製造業は減益だった。
今後の見通し (3ヵ月)		都内の景気は引き続き緩やかな回復が期待されるが、海外景気の下振れなどが今後のリスク要因となっている。
個人消費費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、昨年4月が消費税率引き上げの影響で前年同月比▲8.8%と落ち込んだ反動もあって、同16.5%増と増税後初めて2桁の増加を記録した(既存店ベース)。衣料品、雑貨、食料品などの主要品目はいずれも前年を上回った。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、昨年4月に消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減があったことなどから、前年同月比8.1%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った(既存店ベース)。
	コンビニ売上(関東) 	関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比7.4%増と26ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。既存店ベースの売上は、同3.7%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。
	乗用車登録台数 	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比4.2%増と昨年4月の増税後初めて前年を上回った。車種別では、普通車(同18.8%増)は前年を上回ったが、小型車(同▲2.0%)、軽乗用車(同▲14.7%)は前年を下回った
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比15.4%増と3ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から8.7ポイント拡大した。利用関係別では、持家(同▲7.1%)、分譲一戸建て(同▲32.6%)は減少し、貸家(同1.3%増)は小幅な増加だったが、分譲マンション(同126.2%増)が大幅に増加した。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比50.3%増と2ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から40.5ポイント拡大した。発注者別では、市区町村(同▲41.2%)、地方公社(同▲35.9%)は減少し、国(同33.2%増)、独立行政法人(同231.2%増)、東京都(同70.6%増)が増加した。
貿易 (東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比18.8%増と10ヵ月連続で前年を上回った。主要地域別では、アメリカ向け(同43.1%増)、EU向け(同0.3%増)、中国向け(同12.5%増)、アジアNIEs向け(同16.4%増)、ASEAN向け(同28.4%増)がいずれも前年を上回った。
設備投資 (関東、大企業)		財務省「法人企業統計調査」関東財務局管内分大企業集計によると、関東の法人大企業(資本金10億円以上、金融・保険業を除く)の27年1~3月期の設備投資は、全産業が前年同期比3.4%増、製造業が同▲1.3%、非製造業が同5.9%増となった。
企業収益 (関東、大企業)		同上調査によると、関東の法人大企業(同上)の27年1~3月期の経常損益は、全産業が前年同期比▲2.2%、製造業が同5.3%増、非製造業が同▲6.2%となった。
労働需給		有効求人倍率(季調値)は1.67倍と、前月から0.02ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は3ヵ月ぶり。先行指標とされる新規求人数は前年同月比▲1.1%と2ヵ月ぶりに前年を下回った。南関東の完全失業率は3.6%で、前月から0.3ポイント上昇した。完全失業率の悪化は3ヵ月ぶり。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲9.9%と7ヵ月連続で減少したが、負債総額は同46.7%増と2ヵ月ぶりに増加した。1~4月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比▲10.5%で、建設業(同▲24.4%)、製造業(同▲15.2%)、小売業(同▲14.3%)などが減少し、サービス業(同15.1%増)、卸売業(同7.9%増)などが増加した。
資金需要 (銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比4.1%増と44ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.2ポイント拡大した。増加幅の拡大は3ヵ月連続。

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一〇メモ) 訪都外国人旅行者数は過去最多
1月 107.2 (▲2.7)	1月 104.7 (▲15.7)	2月 101.6 (2.3)	東京都の発表によると、2014年東京都を訪れた外国人旅行者数は、前年比30.3%増の約887万人(内、都内宿泊客は約664万人)と、2年連続で過去最多を更新した。また、外国人旅行者の観光消費額(都内での消費総額)は、同35.1%増の7,854億円となった。
2月 101.0 (▲2.7)	2月 97.8 (▲19.1)	3月 102.1 (2.3)	
3月 98.3 (▲6.1)	3月 113.8 (▲11.6)	4月 102.4 (0.7)	

*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨